

平成 30年度入学者選抜試験
個別学力試験問題(後期日程)

総 合 問 題
(法文学部社会文化学科)

注 意

1. 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題紙は 10 ページです。解答用紙は 2 枚、下書き用紙は 3 枚です。指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
3. 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
4. 答えは横書きとします。字数を指定したものは、句読点を字数に含めて数えてください。アラビア数字は 2 字で 1 字分として計算してください。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 試験終了後、問題紙および下書き用紙は持ち帰ってください。

〈問題訂正〉

総合問題（法文学部社会文化学科）

5 ページ 3 行目

大問 1 問 2

(誤) ・・・ それぞれ 25 字以上 50 字以下で

(正) ・・・ それぞれ 25 字以上 50 字以下で

1

次の文章を読んで、後の問い合わせ(問1～問4)に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(片田珠美『「正義」がゆがめられる時代』より。一部改変)

問 1 下線部①, ②のカナを漢字に直しなさい。

問 2 文中の空欄 A B にあてはまる適当な文言をそれぞれ 25 字以上 50 字以下で記しなさい。

問 3 下線部(a)で「コストパフォーマンスこそ何よりも重要という価値観が社会全体に浸透しており、何でもお金に換算して損得で考える人が急増している」と述べている。このようなコスパ至上主義に対する筆者の批判を要約し、それに対するあなたの考えを、あわせて 300~400 字程度で述べなさい。

問 4 なぜ筆者は下線部(b)のように考えたのか、「貨幣」「商品」という語句を使って説明しなさい。

2 全国学力・学習状況調査は、2007年より毎年、全国の小学6年生と中学3年生を対象として行われているテストである。2013年度には、一部の小中学校において保護者に対する調査も同時に実施された。これにより、児童生徒の学力と家庭背景との関係を分析することができる。以下は、お茶の水女子大学による分析結果について述べている。

分析ではまず、児童生徒の家庭の「社会経済的背景」を把握するために、家庭の所得・父親学歴・母親学歴の側面から作成した指標に基づき、各家庭を4つの層に区分している。すなわち、①低、②中の低、③中の高、④高の4区分であり、それぞれの区分に25%ずつの家庭が含まれている。表1は、小学6年生について、それぞれの層の家庭所得平均等を示したものである。

表1 児童の家庭の社会経済的背景別統計(小6)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

2013年度の全国学力・学習状況調査において、小学6年生は国語A・Bと算数A・Bのテストを受けた。Aは主として知識に関する問題、Bは主として知識活用力を問う問題である。

次ページの図1は、家庭の社会経済的背景と各テストの正答率の平均値との関係を示したグラフである。また図2は、平日の学習時間と各テストの正答率の平均値との関係を示したグラフである。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

図1 社会経済的背景と各正答率の平均値(小6)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

図2 平日の学習時間と各正答率の平均値(小6)

問 1 以下の(1)～(5)は、図1と図2から読み取れることとして正しいか。それぞれ、読み取れるものには○、読み取れないものには×で回答しなさい。

- (1) 社会経済的背景が高い層ほど、正答率が高い傾向がある。
- (2) 算数の学習時間の方が、国語の学習時間より長い。
- (3) 社会経済的背景が「低」の層では3時間以上学習している児童はほとんどいない。
- (4) 学習時間が長い児童ほど、正答率が高い傾向がある。
- (5) 社会経済的背景が「低」の層の児童は全員、どの科目的正答率も70%以下である。

問 2 図3は、社会経済的背景別に、平日の学習時間と国語Aの正答率の平均値を示したグラフである。○で囲まれた値を参考にして、図3から読み取れることを記述しなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

図3 社会経済的背景別に示した、平日の学習時間と国語A正答率の平均値(小6)

問 3 図4は、社会経済的背景が「低」の層の児童について、学習時間ごとの国語Aの正答率の分布の様子を箱ひげ図で示したものである(箱ひげ図については、末尾の説明を参照のこと)。図3では読み取れないが、図4では読み取れることを述べなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

図4 社会経済的背景「低」の層における学習時間ごとの国語Aの正答率分布(小6)

問 4 表1および図1～4をふまえて、児童の学力と家庭背景との関係について考えたことを述べなさい。

出典：「平成25年度全国学力・学習状況調査(きめ細かい調査)の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究」国立大学法人お茶の水女子大学

注) 箱ひげ図について

基本的な箱ひげ図では、全体の件数を4分の1ずつに分け、下図のように、4分の1(25%)が入る範囲をT字型のひげや箱で表します。

なお、飛び離れた値(外れ値)の存在を示したいときには、ひげ部分の長さを一定(例えば箱の高さの1.5倍)までとし、その先に○などで外れ値の存在を示します。

